

環境と人間 (競馬の世界)

授業計画

授業概要

わが国の「競馬の世界」は、1862年に初めて競馬が行われて以来約150年の歴史がある。その人気は、新聞、テレビなどのメディアによる報道や数万人のファンを集めるレースが行われていることから知ることができる。「競馬の世界」には、その主役である馬とともに農家、厩舎、騎手、獣医師など多くの専門家が関わっていることを学ぶ。また、競馬の歴史、競馬に関わる様々な人々、スポーツとしての馬術などについても学ぶことで日本の馬文化についても理解する。

到達目標

1. 日本の競馬を支える人々とその役割を説明できる。
2. 競馬の運営に関わる法律、その他のルールについて説明できる。
3. 競馬の運営手法を学ぶことを通して、興行、組織運営、国際ルールへの対応などについて説明できるようになる。
4. 日本の馬文化について例を挙げて説明できる。

成績評価

授業時間中に理解度を確認する小テストを実施する。小テスト(90%)と札幌競馬場の現地見学に対するレポート(10%)により理解度を判定し、成績を評価する。

注意事項

外部講師の都合により講義の順番が入れ替わることがある。変更については、授業時間内の案内および掲示等で告知する。

「競馬の世界」に関わる専門家が以下のトピックについて講義するとともに、競馬の現場を見学することで講義内容の理解度を深める、全15回分の授業を行う。

1. 競馬・JRAの概要 (4月9日)
オリエンテーションとして、競馬や施行団体であるJRAの概要を知り、近隣にある札幌競馬場の歴史についても学ぶ。
2. 競馬法とその改正の歴史 (4月16日)
日本では、競馬法の下、競馬が実施されている。関連する法律および規制とその改正の歴史を学ぶ。
3. 競馬番組 (4月23日)
中央競馬は年間を通じて、予め決められた番組に従ってレースを実施している。その概要および大規模イベント運営のノウハウについて学ぶ。
4. 競技場としての競馬場 (施設・馬場) (5月7日)
競馬場をスポーツ競技場として見て、その特色を学ぶ。
5. 馬の解剖学 (5月14日)
馬とはどんな動物なのか。解剖学の面から掘り下げて学ぶ。
6. 競走馬の生産 (5月21日)
「競走馬のふるさと」と言われている北海道。その生産の現場について学ぶ。
7. 世界の競馬 (6月4日)
競馬の世界は、国内に留まらない。競馬の国際的な広がりを学ぶ。
8. 馬の繁殖学 (6月11日)
馬とはどんな動物なのか。繁殖学の面から掘り下げて学ぶ。
9. 競走馬の学術的研究 (6月18日)
競走馬のバイオメカニクスや運動生理学について、有名馬を題材にして学ぶ。
10. 映像コンテンツとしての競馬 (6月25日)
レース映像の撮影方法や、その映像の活用について学ぶ。
 1. 馬事振興への取組み (7月2日)
引退競走馬のセカンドキャリアや馬事文化等の振興について学ぶ。
 2. プロモーション戦略 (7月9日)
より多くのお客様に競馬を楽しんでいただくために行っているプロモーションについて学ぶ。その戦略および方法論は、競馬の世界を超えた広い分野で有用である。
 3. データの活用 (7月16日)
お客様に競馬場へ来場いただくため、あるいは馬券を購入していただくために活用しているデータ解析について学ぶ。
14. および15. 競馬場見学 (6月22日または7月6日、土曜日)
パークウインズ (場外発売所) として営業している札幌競馬場を見学し、実際の競馬を体感する。